

阿寒病院の民営化問題

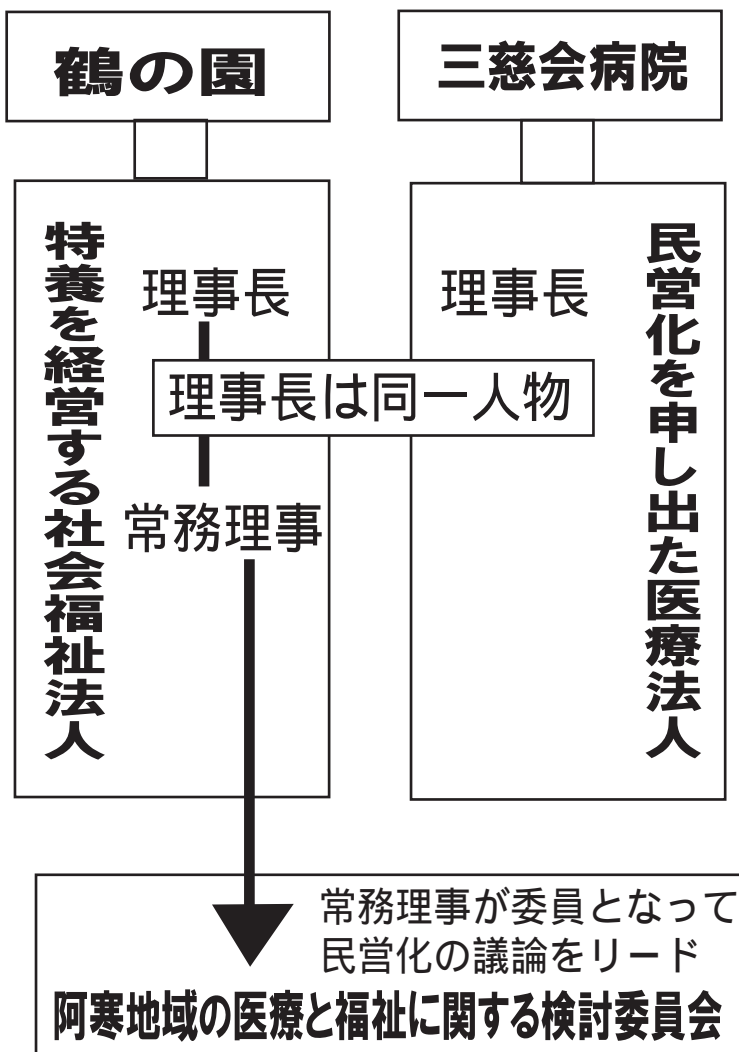
検討委員会 これでは公平な議論はできません

その後の議員団の調査と、梅津則行議員の民生福祉常任委員会の質問で、「市がなぜこの特定の法人に肩入れしているのか」、その仕組みがわかりました。

市はたびたびこの法人の関係者と会って、具体的な民営化の中身を、話し合っていました。

もつと驚くことに、住民の代表が集まって、今後の病院の方向性を議論してはいたはずの「阿寒地域の医療と福祉に関する検討委員会」に、この医療法人と密接な関係を持つている方が委員となつて、盛んに阿寒病院を「この医療法人にやらせてほしい」と議論をリードしていたのです。

当事者に極めて近い人物を委員会に入れて、その方向に議論を進めていく・・・こんなやり方をみなさんはどう思いますか？



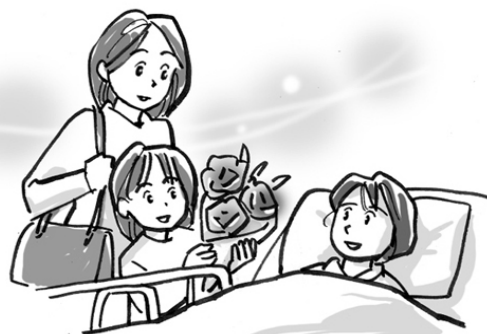
市に「民営化」と「市が運営する診療所」の二つの選択肢を答申

共産党は阿寒の医療をこう守ります！！

民間となれば「赤字」のまま長く運営することはできません。だから3年間は運営費を補助してほしいということです。これでは、いつ病院が閉鎖されるか、住民はずっと心配をして暮らさなければならぬこととなります。

だからこそ、将来は市立病院の分院にして市がしっかり経営していくべきです。「医師不足で分院化は無理」と行政センターはあきらめていますが、それは間違いです。センター病院とクリニックを併せ持つ民間病院はたくさんあります。その病院だって医師不足で苦労しています。市立病院も阿寒病院も、大変であっても両方やっていける道は必ずあります。

しかも、阿寒病院では2人の先生がしっかり診療に当たっていただいています。この先生たちに安心して診療を続けてもらうためにも、市が運営することが誰が考えても一番良いと思います。



これではまるで三慈会の代理人です

検討委員会での特養の常務理事の方の発言の一部

「もしやらせてもらうなら、地域の方のためにやりたい、それは鶴の園との関係です。鶴の園と一緒にやりますので、途中で逃げたことなれば、自分そんなことでもたなくなる。では、やらせてもらうならこういうことをしようという阿寒プロジェクトを組みました。・・・さ」

が来たたら本当に住民のことを考えてやってくれると信じています。」

いますぐ町民向けの説明会を開いて町民の声をしっかり聞いてください

村上かずしげ通信 9/25

発行 日本共産党 釧路市議団 23-5212



の通信は政務調査費で作成しました。